

自然教育園見ごろ情報

2026年5月14日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

イイギリの花が
地面に落ちています



アカショウマ

花序は幅の広い円錐状で、小さな白い花が多数つきます。花序がサラシナショウマに似ていて、根茎が赤いことから名前がついたと言われます。



ウツギ

卯月（陰暦4月）に咲くことが名前の由来であるという説があります。花は、その年の豊作を占ったといい、花の多い年は豊作と考えられました。



全域で見られます

アワフキムシの仲間

木の枝や草の茎をよく探すと、泡だらけになっている場所があります。アワフキムシの仲間の幼虫が泡の中にいます。幼虫は、植物の汁を吸って生きていますが、泡はその栄養分を濃縮し、余った水分などの排泄物から作られています。



ヤマボウシ

開花の様子が白い頭巾をかぶった法師を思わせることにより「山法師（やまぼうし）」の名前がつけられました。白い花びらのように見えるのは「総苞片（そうほうへん）」で、その中心に小さな花が球状に集まっています。



イイギリ

地面にたくさん落ちている、丸くて黄色い花の正体は、イイギリの雄花です。花の良い香りが漂っています。是非、地面だけでなく、上を見上げて花を眺めてみてください。



水生植物園で見られます

アイロニワゼキショウ

庭に生え、葉がセキショウ（ショウブ科）に似ていることから名前がつけられました。日本に観賞用として持ち込まれた北アメリカ原産の植物です。



サイハイラン

ランの仲間で、はたきのようなユニークな形をしています。陣中において、大將が指揮するときを使う「采配（さいはい）」によく似た花をつけることが名前の由来です。



ハマクサギの花

ハマクサギ

海岸近くに生育し、葉や茎に傷をつけると匂うことにより名前がつけられたとされますが、それほど悪臭ではありません。南紀・中国・四国・九州などの暖地に分布し、園のものは江戸時代に持ち込まれたと考えられています。花は白から黄色に変化します。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園